



描く明日の上尾

1000号を迎えた今、過去に『広報あげお』に登場した皆さんや、『広報あげお』と同一年の昭和30年生まれの皆さんから、「上尾の思い出」や「上尾の未来」をテーマにメッセージをいただきました！

～自分の道に打ち込む2人

女の子が野球をやるなんて想像もつかなかった時代。『広報あげお』で野球に打ち込む女の子として紹介され、反響がとても大きかったことを記憶しています。

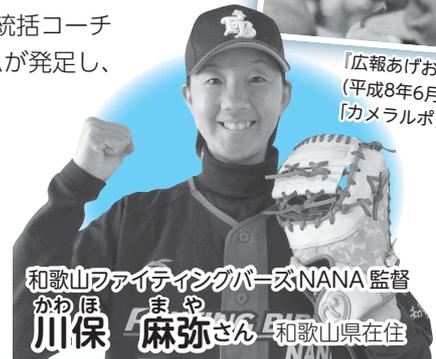
私は昨年、野球をやりたい女の子たちの環境づくりのために、女子プロ野球の統括コーチを退職後、和歌山県に移住しました。移住から半年ですが、女子硬式野球のチームが発足し、和歌山県としては初となる女子硬式野球連盟も立ち上がりました。教員として働きながら、チームの監督、連盟の理事長として、女子野球発展のために毎日頑張っています。夢は、女子野球がオリンピック種目になることです。

上尾市は、スポーツ環境にも恵まれた素晴らしい所です。その環境を生かし、男性だけではなく、もっとも女性にも輝いてほしいと思います。

これからも『広報あげお』を通して、たくさんの夢や希望を発信してくれることを期待しています。



『広報あげお』No.698
(平成8年6月1日発行)
「カメラルポ」掲載



和歌山アイテイングバーズNANA 監督
かわほ まや 川保 麻弥さん 和歌山県在住



アップピ元気体操リーダー
かわはらづか たかこ
川原塚 孝子さん 大宇上在住

私は、昭和48年に群馬県片品村から上尾市に移りました。すぐに結婚し、ずっと今の場所に住んでいます。現在の文化センターが福祉会館だったところに、そこで結婚式を挙げました。当時は、1日に何組も結婚式を挙げていたのが懐かしいです。

私は今、アップピ元気体操のリーダーをしています。周りは自分よりご高齢の人も多いです。若く結婚し、姑と一緒に生活したことで、農家特有のしきたりにも詳しくなり、年上の人とも上手くやれています。今では、片品より上尾での生活の方が長くなりますが、この上尾で周りの人から教わったことは私の宝です。

私は、今回初めて、市の広報誌と同一年であることを知りました。これまで上尾市もいろいろなことがあったように思います。「上尾事件」など悪いこともありましたが、「上尾高校の甲子園準決勝進出」など良いこともありました。これからの上尾市には、増える高齢者のために福祉を充実していただき、健康な高齢者が生き生きと生活できるまちとして有名になってほしいです。



福祉会館(現文化センター)で挙げた結婚式



『広報あげお』と同一年

昭和30年
生まれ

私は結婚と同時に現在の上平地区に住み、上尾での生活も35年が過ぎました。近くには小学校や市場などがあり、住宅と畑が混在する静かな所です。結婚当時は電車を利用するには、桶川駅まで自転車や徒歩で行くか、上尾駅までバスに乗って行くため不便を感じていました。しかし、北上尾駅の開業や、北上尾駅東側の道路が整備されたことで、通勤・通学が便利になり居住環境が劇的に変化しました。

“住めば都”、快適な上尾暮らしも、いつの間にかシニア生活となり、健康維持と体力づくりを目的に、「アップピ元気体操」に参加しています。週1回、1時間ほどの「元気体操」「せらばん体操」は、いすに座ったまま行うことができ、誰でも無理なく体幹が鍛えられます。その名の通り私も元気を頂いており、今後も末永く続けたいと思います。

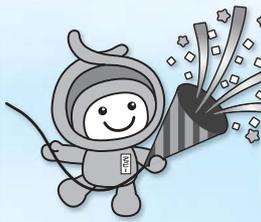
これからも市民の誰もが利用できる施設やサービスがあって「上尾に住んで良かった」と思える、住む人の気持ちになった優しいまちづくりをしてほしいです。



30年前、公民館に
展示された前島さん
のパッチワーク作品



アップピ元気体操リーダー
まえじま れいこ
前島 礼子さん 久保在住



1000号を迎えて みんなが

『広報あげお』に出ました

～昔も今も変わらぬ思い



『広報あげお』No.566
(平成2年12月1日発行)
「クローズアップ」掲載



鍛金造形家
はしもとまさゆき
橋本真之さん 愛宕在住

中学1年生の時、美術の授業で描いた作品が市の広報に掲載されて、私はその掲載誌をアルバムに貼って大切にしていました。50年以上も昔の懐かしい思い出です。長じて、私は立体造形作品を鍛金という工芸技術で制作する作家になり、昨年は埼玉県立近代美術館での公開制作を行い、思いがけなくも「芸術選奨文部科学大臣賞」を受賞することができました。これまで応援してくださった皆さまのおかげです。

現在、市内で身近に見ることのできる私の作品は、コープ愛宕、緑隣館緑地、ひかわ幼稚園に設置された3点です。

私は将来の上尾市が市立美術館や博物館のある成熟した文化環境の市に発展することを願っています。



『上尾自治だより』No.71
(昭和36年5月20日発行)
に掲載された中学1年生の時の作品

あの頃のわが家のアイドル

～コーナー誕生号 No.883
(平成19年10月1日発行)
に登場した皆さん～



平成19年4月19日生
ひつじ ◆ すくすく、ま
るまる育っています。なん
とハハと誕生日が一掃！
坂田 爽良(ひつじ)

『広報あげお』に載ったときは5カ月でしたが、すくすく、まるまる育って今は10歳になりました。1日も休まず学校に通っています。絵を描くことが好きなので、将来それを生かせる仕事がしたいです。

上尾市に、みんなが楽しめる公園がもっとできるといいなと思います。緑もあって、住みやすい上尾市が今後も続いてほしいです。



つかだ そら
塚田 爽良さん(10歳)
泉台在住



やました ほのか
山下 穂乃華さん(12歳)
中分在住

私は、12歳になりました。9歳の妹と2歳の弟がいます。公園で遊んだり、地域の行事に参加したりして、楽しく過ごしています。これからも、上尾市が住みよいまちになるように、いろいろとお手伝いをしていきたいです。



平成17年6月6日生
ひつじ ◆ 満足顔でや
つに「アイスクリーム」
を食べてます！
坂巻 雄飛(ひつじ)



ひつじ ◆ 兄弟仲良し！
平成17年7月20日生 (2歳)
平成14年3月14日生 (5歳)

写真掲載当時、5歳と2歳だった私たちは、あれから10年が経ち、高校1年生と小学6年生になりました。私たち兄弟は、いろいろな壁を乗り越えて一緒に成長してきました。今では弟も増え、兄弟3人でけんかをしながらも、にぎやかに暮らしています。上尾市が、これからも私たちが自慢できる住みよいまちであることを願っています。



さかまき ゆうひ
坂巻 雄飛さん(15歳) 左
かける
駿区さん(11歳) 右

五番町在住